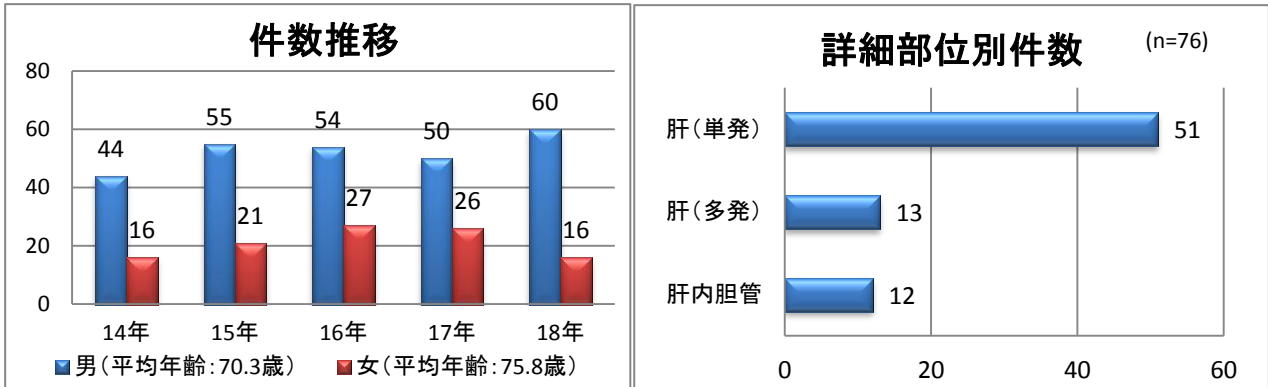
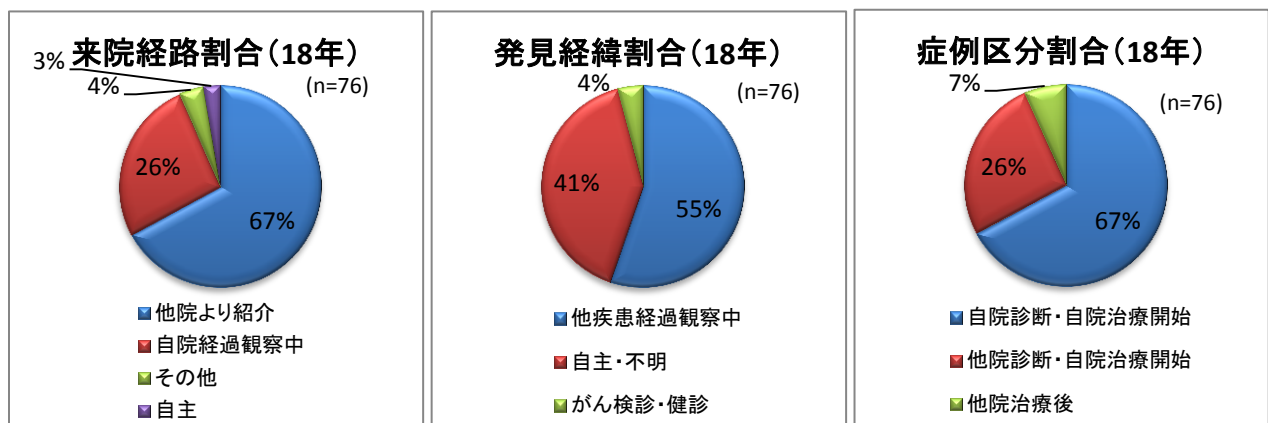


Ⅱ. 2018年集計＜部位別＞

5. 肝



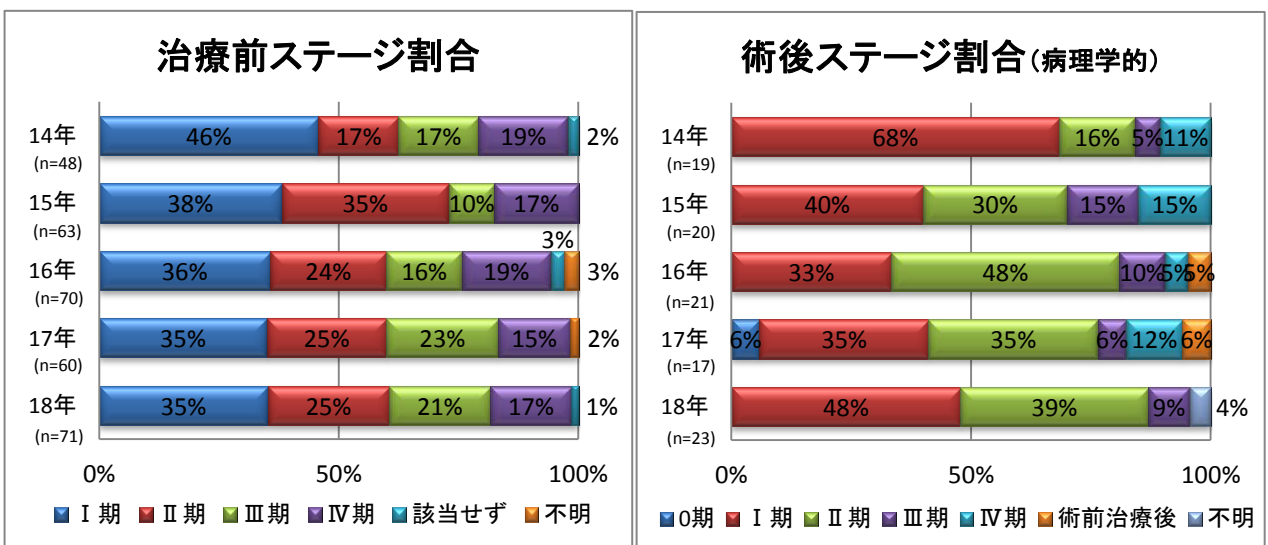
件数推移は男性の件数が増加している。詳細部位別では「肝(単発)」の件数が最も多い。



来院経路割合は「他院より紹介」の割合が約7割を占めている。

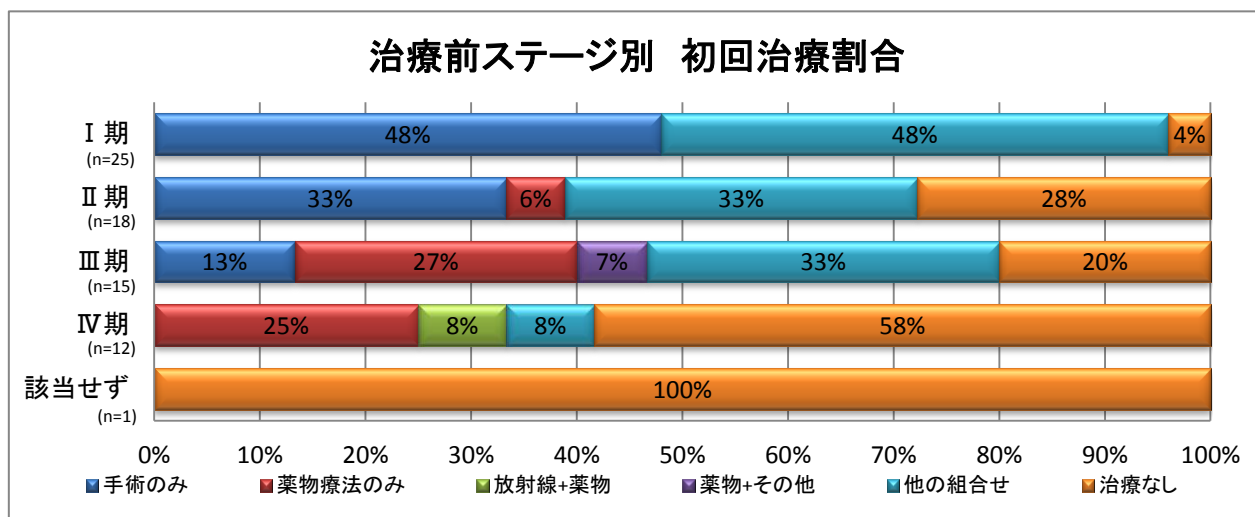
発見経緯割合は「他疾患経過観察中」の割合が約6割を占めている。

症例区分割合は「自院診断・自院治療開始」の割合が約7割を占めている。



治療前ステージは「I 期」と「II 期」の割合が多い。術後ステージは「I 期」と「II 期」の割合が多くを占めている。

※「術前治療後」は、多発肝がんで一部の病変にRFA(ラジオ波)治療を行った後、他の病変を切除したという症例であった。



I 期からⅢ期では「他の組合せ」の治療が多く、これにはRFA(ラジオ波)治療やTAE(動脈塞栓)治療を行う症例が含まれる。また、高齢等の理由により経過観察を行う「治療なし」も多くなっている。